新京日日新聞
夕刊
十二月十四日（木）
發行所 新京日日新聞社

昭和八年の回顧（十四）

滿洲國産業の國家統制案成る！

滿洲國財界の一年（B）

一月 二日滿洲化學工業株式會計が、二千五百萬圓の資本で將來十八萬トン製造を目標に生まれることゝなり、今年最初の大企業として騷がれた、そして廿四日午前十時四十九分（滿洲時間午後五時四十九分）にはゼネバで、松岡代表の人間外交も効なく四十二對一で、投票に破れ、日本を聯盟脫退の余議なきに至らしめ、滿洲國の經濟建設强化、日本の世界市場からの壓迫を生じた記念すべき日である。而して二十八日には、滿洲國經濟建設大綱が決定され、今後の日滿兩國の關係を益々緊密にし四十二對一恐るゝに足らずの勢ひを以つて、滿洲開發に拍車をかけた即ち經濟建設の大綱は

一、兩國全体の利益を基調とす
二、重要經濟的資源は國家的統制を行ふ
三、門戶を開放し、機會均等を行ふ
四、東亞經濟の融合、合理化を行ひ、日滿相互依存を行ふ
イ、國防又は公益的事業は公營又は特殊會社をして行はしむ
ロ、右以外は民間の自由經營とす

其他、交通機關を充實し、農業開墾を行ひ、鑛工業を振興し、金融整備、商業の助長、私經濟の改善を行ふ

これに依り今後滿洲國の經濟建設が行はれ關東軍特務部、實業部では以上の大綱を基礎として具体的實行案の研究に着手した、又同日、中央銀行の第一回株主總會に於て、第一期成績收入六百六十五萬八千圓、支出六百二十九萬五千圓、純利三十六萬三千圓、六分配當の決算案が決定して滿洲國經濟にカ强い一石を投じた

三月 斯くて三月に入るや建國一周年を迎へて益々飛躍期に入るべき筈であつたが、ドルの國アメリカでは四日休業又は支拂停止の銀行が一區四十八洲に及び聯邦銀行は一齊に休業し、シカゴその他の七取引所が休止したため、五日ルーズベルト大統領は、三日より九日までの銀行休業、金輸出、死藏、イア、マークを禁止したため大連の圓相場は奔騰し後に立會中止となりノミナル相場は

米央　三弗八五
米日　二十六弗六五
倫敦銀塊十八片二分一

となつたが、十日再開されたときは、目先落付きで、休止前と大差なく一般にホツとした然し大豆は月初めは銀安で歐洲物多く在荷が少かつたが一度び市場が休止さるるや商談が頓挫し、又ドイツの人造バタ制限の禍が傳つたり內地農村不況のため豆粕が需要を減じ日本生糸對米輸出不安等の懸親材料が加重したため不勢に陷つた、そのため新京驛に於ける南行大豆は前月より四割、前年の四割五分減の十五萬五千百五十キロトンとなつたが、これには北滿奧地の河豆の出廻が少かつたことも原因となつてゐる、然し北行又は新京止め貨物、殊に代表的な綿系布、麥粉は舊冬の銀價騰進期の思惑的約定品が到着した爲、麥粉は前月の六割二分、前年の十二割增の二千四百七十九トン、綿系布は前年の五割增の九百四十疋となり、然も綿系布は需要多く、ストツクがなかつたが、麥粉は、約定時の北滿小麥不作說で量が非常に多かつたため銀價も低落して滯貨し、荷無れ狀態であつた、然し建築材料は相變らず多く、材木は前年の二倍となり、石材、洋灰の到着七千瓩は、土建界端境期の前提として喜ばれた、然し今月廿七日には、日本が正式に聯盟脫退を通告し名譽ある孤立を斷行した歷史的な月で、滿洲國建國記念日と共に忘るべからざる月である、又二十日には敦圖線が開通して初めて建設列車が全線を走り新京對北鮮はもとより、裏日本との經濟的提携の第一步を築いた月でもある

『なほ』今月の貿易額を擧れば

輸出　三六、七九〇、七八四圓
輸入　三九、九六一、〇七一
入超　三、一七〇、二八七

本年累計
輸出　一三九、七六八、六九九
輸入　一二六、九〇三、六六四
出超　一二、八六六、〇三五

で本年最初の入超月で、輸出に於ては大豆五百三十四萬三千圓、豆粕二百三十五萬四千圓を減じ、輸入に於ては麥粉が九十萬二千圓を增加してゐるのが目立つてゐる（續）

十一月末の市況

會議所調査

新京商工會議所調査の十一月末市況を見ると先づ木材は結氷期ではあるが今年は結氷が例年より遲れてゐるので、相場は前月と變らず

『紅松』仙円二間物一才で前月同樣十二錢三厘、四間物十三錢四厘で四分板は一坪一圓九十四錢の四錢騰り、白松二間物一才七錢五厘、四間物十一錢で前月同樣、四分板坪一圓八十錢の五錢騰り等で、幾分銀高の關係もあつて騰つたものもある綿系布は燃より双雁二圓七十三錢、寶塔十六平二圓卅八錢、粗布八圓四十五錢、細綾六圓六十五錢、細布軍人九圓四十錢、大尺布二圓八錢で何れも月末は月初めに比し四五錢方下落してゐるが、これは冬物の一巡による需要減のためで、麥粉は一等四九磅入り三圓二十錢、二等三圓五錢三等二圓七十錢で何れも四十錢から十錢位迄の昂騰で、銀高のためである、又砂糖は日糖、ゼー印二十圓二十錢、エメ印十九圓六十錢エスエイチ印十九圓四十錢で、ゼー印を除いては三十錢下落してゐる白米は特等米二十二圓六十七錢、一等米二十二圓、三等米二十一圓三十三錢で、何れも三十錢方下落してゐるが、これは搬出馬車が、建工事の減少と共に、供給が良くなつたので、出廻多きためである

ロンドンで日本商組合を造る

【東京十三日發國通】最近英國市場に對する日本品進出問題が英國朝野で議論され、これが對策を如何にすべきかに就ては各方面で漸く愼重に考慮され始めてゐるが、十三日在ロンドン松山商務官より外務省へ達した公電によれば、取敢へず同地に於ける日本人輸入當業者の組織を行ひ以て日本品の英國輸入統制をくはだてつゝありと、しかして公電の內容は左の如くである

松山商務官はロンドンに於ける日本人輸入當業者を集め日本の商品に對する輸入障碍對策について協議したが、何れも日本で輸出統制をなしその效果を示めすことが英政府並びに外國に對し最も必要であると意見一致した結局英國に關する限り英國に於ける日本品の主要なる輸入商を以て組合を組織し、日本內地側の聯合會員と相呼應しる場合は共に、英國側の輸入註文を發する場合、又は受け制限するより外に途なかるべしとの主義上の一致點を見るに至つた、只これが實行手段につき協議を進めたが斯くの如き場合は內部的事情もありその組織は必ずしも容易でないが、若し日本側の聯合會が英國に於ける輸入商組合會員以外に輸出をなさゞるべしとの保證を與へるには、これが組織は可能なるべしとの意見に到達した英國に於ける當業關係者は、協議の結果日本側から前記の保證を得る事を提さし直ちに組合の設立準備に着手の筈

黑省施政

大綱三年計畫書

黑龍江省施政大綱三年計畫書省長韓雲階氏の題字、保民以下撓爲先行政以務名爲患旅非賢者不足以語此君夫標窃列國之創不求甚解而厲行之此中國所以之亂也滿洲實行仁政欲奏今之法折中而用之之鄭國務總理の題字、吏治、市政、財政、交通、實業、敎育、防務、警察、保甲、村制等十篇に亘る日滿兩文菊判三百余頁の大册レザー表裝の美本、省長韓雲階氏の名により發兌

大阪商船

優秀船七隻建造

【東京十三日發國通】豫ねて助成金により計畫中であつた大阪商船では四五〇〇噸の優秀船（十八ノツトディゼル機關）七隻を建造する事に決定三菱長崎造船所と契約した

日滿悲曲

生命線を行く（四十二）

國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

地下の微笑み

「ねエ兄さん、僕は決して、無理言はないつもりです。兄さんは長男に生れたんだから、當然相續せねばならない人なんです。相續をせねばならない兄さんに、相續をしてくださいといつて賴む僕が無理でせうか——兄さんは、さつき言つたでせう、お父さんが、われ〱二人を、愛へ呼び寄せて與れたのかも知れないつて——しかし僕に言はせると、お父さんは、兄さんを愛へ呼び寄せて、改めて、相續を、お命じになるのかも知れませんよ。生意氣なことを言ふやうだけれど、これは僕が言ふのでなく、お父さんがお墓の下から、僕の口をかりて、おつしやつて居るのか知れません」

久彌の言葉のはし〱に、感激の淚が滲むかと思はれた。

伸一は、何となく强い力に壓し付けられたやうで、自然と頭が下つて行つた。

ゐる。それがお互を不幸にさせてゐるんだ。それだから兄さんはお母さんに氣兼をして、僕に相續させやうとするんでせう」

「そんなことを言つては困る——お母さんは、我々のための、たつた一人のお母さんでないか——それを言はれるのが、何よりも僕は辛い——」

伸一も、默はす瞼をうるませるのだつた。

「兄さんは苦しいでせう。でも許してください。兄さんの苦しいのを知つてゐながら、猶、こんな話を、しなければならない僕は、どんなに辛いでせう——」と言つてゐるうちに、彼の面には、次第に決意の色が漲つて來た。

「僕、もう斯うなつたら、何もかも言つてしまひます。兄さん、世間の人なんて、ちつとも當にならないものですね。生前に、お父さんが、あんなに信頼してゐた牧原さんがどうでせう。お父さんが死

んでしまふと、まるで掌のうらを反すやうに、お父さんの信頼を裏切つてしまつて、兄さんの相續に反對しようとしてゐるんです。——僕は、腹が立つてならない。僕が若し兄さんだつたら、そんな輕薄な人情には飽まで反抗して、必ずお父さんの遺思を貫徹させる。さうして、お父さんの遺思を貫徹してこそ、初めて、お父さんへの孝行になるんだから——」

その久彌の、熱烈な言葉を聞きながら、伸一の眼は、いつか吸ひ寄せられたやうに、傍らの父の墓標の上に注がれてゐた。

臨終の最後まで、頻りに、我が名を呼びつゞけた父の、あの、物を言ひたさうにしてゐた瞳。いまでもやはり、墓標の下からその瞳が、チツト此方を見つめてゐるやうな氣がするのであつた。

家を振り棄てゝ六年。一度の音信もしなかつた自分の不孝を咎めもしないで、遙々滿洲から呼び寄せて、後の事を託して死んだ父の氣持は、今更久彌の說明を聞くまでもなく、わかり過ぎるほど能く

久彌は、猶言葉をつゞける。

「ネエ兄さん。兄さんが若し、氏家一家のために、その幸福を考へてくださるなら、お父さんの遺思に從つて、なぜ、相續をしてくれないのです。兄さんが、相續さへして下すつたら、それが、一家の幸福でなくて、何でせう。お父さんは、それこそ、初めて地下で、安心して微笑まれるでせう。お父さんばかりではありません。僕だつて——僕だつて、どんなに嬉しいかも知れやしない——僕はこんなに眞劍に、家のことや、兄さんのことを思つてゐるんだ。それだのに、兄さんは、なぜ、そんなに水臭いんです」

伸一は淚を拂ひながら、久彌は嗚咽の間から、きれ〲に言つた。

「僕が水臭いつて——なあに、そんなことは、ありやしないよ。僕だつて眞劍なんだ。眞劍に家の前途や、おまへの幸福になることを考へてゐるんだ」

「それだつたら、なぜ兄さんは、兄さんらしく、僕を弟のやうにして取扱つてくれないのです。僕と兄さんとは、お母さんが違つて

外交國難打開の爲 外務省人事大刷新
霞ケ關從來の慣例を破つて 廣田外相の決意

〔東京十四日發國通〕廣田外相は現下日米外交の重大性に「鑑み」出淵大使の後任については民間のみならず軍部方面とも聯絡、愼重考慮中であつたが、今回愈よ現オランダ駐剳公使齋藤博氏を拔擢することに決意を披瀝したが一致の贊成を得たので、十四日出淵大使の歸朝を待つて一應形式的に同意を得、諮問した上廣田外相より齋藤首相に報告、承認を得れば大體茲一週間以內に米國政府へ齋藤博氏任命のアグレマン請求の手續を取る事とならうと觀られる、尚松平駐英大使は明春歸朝するが、同氏が再び赴任する意思があれば同氏を歸任せしむるも、若し勇退を申出づれば杉村陽太郎氏を起用する筈、又スイス公使後任には現日印交渉代表として渡印中の澤田節藏氏を任命することに內定してゐる

右の如き外務省人事異動は霞ケ關始つて「以來」の型破りのやり方であるが、廣田外相が斯の如き決意をなした理由は次の如くである

從來我霞ケ關の人事は總て官等の順位によりトコロテン式に異動せしめ人材の適不適を問はなかつたのであるが、斯くては今後の重大なる外交非常時を到底切拔け得ざるを以て過去の慣例を一切清算して公使、參事官級の中から夫々駐剳に適せる者を拔擢して任命し一旦任命した以上は當該國に永く駐剳せしめ以て活動地盤を造らしむるの方針を執らんとするに至つたものである、從つて現任大使は今後機會ある每に優退せしめ、新進を以てこれに代ふる筈であるから外交陣容の大刷新が期待される

西園寺公 風邪で發熱

〔興津十四日發國通〕西園寺公は風邪のため發熱、名古屋より勝沼博士每日往診しつゝあり

考査部の變身 調査部の內容

〔東京十四日發國通〕樞密院は十三日午後一時半より外務考査部新設に伴ふ官制改正案第四回審議委員會を開催した、金子委員長其他各委員並に齋藤首相、廣田外相、黑崎法制局長官、重光外務次官、其他關係官出席し、金子委員長より一九三五年の危機を目前にし政府の外交根本方針を質すところあり、齋藤首相、廣田外相より萬遺憾なきを期してゐると說明し、各委員より希望を述べ、意見を交換し考査部を改め調査部新設承認に決定、午後四時半散會した、同案によれば勅任部長の下に五名の課長を置き外交關係の變化と、史實、外交資料整備を事務的に行ふものである、廣田外相は調査部を來年一月より事務開始させる可く本年中に官制を公布し初代部長にはニューヨーク總領事堀田謙介氏任用に內定し、調査部の五課の事務內容は

第一課 調査部の總務、一般調査事務
第二課 外交啓發講評のため記錄と史料を調整
第三課 アジア關係の外交案件調査立案
第四課 歐洲、南洋關係の外交案件の調査立案
第五課 南北米關係の外交案件の調査立案

尙次期海軍會議準備と臨時調査部を設置の意向であつたが削減され、その代りとして調査部第二課を九年四月迄臨時に使ふと決定し同課長にはベルギー大使館一等書記官山形清氏が任命される事と內定した

滿ソ水路會議 いよく絕望
滿洲國明春一方的に實力行使

〔ハルビン十三日發國通〕滿洲國側は黑龍江の航路標識設定のため滿ソ水路會議を開催すべく、ソ聯側と交渉中のところ、今回ソ側では右交渉のため現地に向ふべき滿洲國外交部員に對し、査證發給方を拒絕した、よつて滿洲國では去る十日附で、當地のソ聯總領事に對し、右會議中止方を正式に通告したが、滿洲國側としては明春解氷期を待ち單獨に滿洲國沿岸に航路標識を設定するの已むなきに至つた

文相內政會議 出席を拒絕

〔東京十二日發國通〕本日の內政會議では農民精神作興問題が上程されるので閣議散會後首相の命で、堀切翰長が鳩山文相に內政會議の出席を求めたが、文相は文部省でも研究中であるから出席する必要無しと拒絕した、右は鳩山文相が當初から內政會議を形式的の會合として見くびつて居り、會議の前途と共に其態度は重大視されてゐる

日、滿、蘇關係 內偵のため
何應欽が露人スパイを派遣

〔チチハル十三日發國通〕當地某所着情報に依ると、北平軍事分會委員長何應欽は日、滿、蘇の時局關係內偵のため露人スパイ、アイチガーフ外四名に金六百圓を支給し北滿に派遣することゝなつたが、右スパイは十一月二十三日北平出發、海路大連經由滿洲國に赴いた筈

軍縮對策準備委員會 新設計畫さる
米洲局第三課として活躍

〔東京十四日發國通〕外務省では一九三五年に開催さるべき軍縮會議に萬遺漏なきを期し新たに軍縮對策準備委員會設置を計畫し、明年度豫算に計上、既に閣議の承認を經てゐるが右軍縮會議を一年後に控へ速かに對策確立の必要に迫られてゐるため豫算の議會協贊を待ち得ざるものあるため、外務省は目下歸朝中の軍縮問題に專門家たる一等書記官山形清氏を主任として起用歐米局員として兼任せしめ明春早々活動することゝなつた而して右案が議會の協贊を經た曉には米洲局第三課として軍縮對策を練る事となつてゐる

ラ駐支英公使赴任

〔上海十二日發國通〕エヂプトスーダン駐在の最高全權として赴任する前駐支英國公使ランプソン氏は各國官民の盛大な歡送裡に本日午後三時PO汽船の所屬船で赴任の途に上つた

日本軍內情調査の爲 于學忠、腹心の鮮人 八名を入滿せしむ

〔奉天十三日發國通〕當地着の情報に依れば、于學忠は灤東匪賊と關東軍との間に何等かの秘密連絡ありとの部下の報告を信じ、直ちに在滿日本軍の內情を調査せんと腹心の部下鮮人八名を二班に分け入滿せしむべく、既に昨十二日天津を出發、一班は海路塘沽より大連經由で、他の一班は陸路北寧線により夫々入滿せしめたと

福建を四省に分割

〔福州十三日發國通〕福建人民政府はその後着々內政改善に力を用ひ福建省を四省に分割した外十二日更に省政府を左の地に設置することに決した

一、閩海省（福州）
一、閩上省（南平）
一、泉海省（泉州）
一、龍漳省（漳州）

右新省政府の設置實現は明年一月一日となる模樣である

中央軍福建軍の 衝突近し

〔南京十三日發國通〕張繼氏等遣南使節の交涉決裂を重視する南京政府は一面依然兵力の移動を行ひ第二、第七の兩師は京漢線により浦口に到着浙江省境に向はんとし陳調元氏の第五十七師も一部同方面に增援するものと觀られる、現在中央軍の對福建配備は溫州より浦城にかけて第八十師の主力並廿二第九の第三ケ師の兵力三萬を、海岸線に近い溫州附近には第八十八師の一部及び憲兵隊の一部兵力一萬五千がある又第九師蔣鼎文氏は各軍の統制に當るため近く浙江討伐總指揮に任命される筈である、これに對し福建側は延平附近に全兵力の六割を廣東省境に四割を置き共に防禦形をとつて居るが共產軍の根據地たる江西省境附近は殆んど防備をなして居ない狀態である

南京政府 十六日より 米麥輸入稅賦課

〔南京十三日發國通〕南京政府は十六日より愈よ米麥、小麥粉に對する輸入稅を課することに決定した

出淵大使 十四日橫濱歸着

〔東京十三日發國通〕出淵駐米大使は十四日午後五時橫濱着の淺間丸で歸朝の豫定である

南洋長官には現役軍人を以てせよ
拓務省へ陳情に代表上京

〔橫濱十三日特國通〕十三日朝入港の郵船筑後丸でサイパン島の農民代表沖繩縣人湧上襲人と稱するものが上陸した、其際同人は語る

私の今回の上京の目的は拓務省始め關係各方面に對し

一、南洋開發會社の小作料を一割下げよ
一、南洋長官を陸海軍現役將校より選拔せよ

等の南洋開發施政上の陳情のためである

鐵道省特別 會計に着目

〔東京十二日發國通〕內政會議の成否の決するところは結局財源問題であるから農林省同樣陸軍省も研究を進めてゐるが、鐵道省の特別會計に着目し國家最緊急の國防費すら繰延べを重ねてゐる折柄復舊事業を延期し之に依り一般會計組換へをなして一千萬圓を捻出することは可能と觀られてゐる

滿鐵改組現地案に 陸軍中央部は全面的贊成

〔東京十四日發國通〕十三日決定の滿鐵改組案に對し、陸軍中央部では傳へられる改組案には全面的に贊意を表してゐる

藤根國道局長勇退 後任は直木博士

滿洲國交通部國道局長藤根壽吉氏は就任以來心血を注いだ全滿道路網第一期計畫完了を機會に退職、後任に日本土木建築界の權威者直木倫太郎氏が就任することに決定、數日中に正式發令せられることになつた、直木博士は明治三十二年東大工科出身、東京市技師、大阪市港灣部長兼都市計畫部長、復興局長官を歷任し、この間東京、大阪兩市より築港及び都市計畫調査の爲海外に派遣せられ、其の學位を受け、大正三年工學博士、現に大林組取締役技師長として活躍、大阪築港建設並に帝都復興に敏腕を振つた都市計畫の第一人者で滿洲にも數度來り、新京都市計畫調査、立案に參劃して居り、同博士の國道局長就任は各方面から期待されて居る尙博士は夫人同伴兩三日中に新京着の豫定である

獨逸の軍備擴張案 佛では同意し難い
駐獨佛大使ヒツトラーに確言

〔パリ十三日發國通〕ベルリンで十一月開かれた佛獨直接交渉につきポンセ大使より佛外務省に宛てた報告書の要旨は大体左の如きものであり、ポンセ大使はドイツ首相ヒツトラー氏及び外相ノイラート氏に對し、ドイツの再軍備要求を佛獨軍縮豫備交涉の出發點となし得ざる旨を確言したとの事である

一、ヴエルサイユ會議以來十萬に制限されて居るドイツ常備軍を三十萬に增加する事
一、常備軍の現役期間の一ケ年延期を實行すること
一、常備軍に偵察用飛行機その他防禦的武器を整備することを承認せよ
一、イギリス提案と一致せしめること
一、ヴエルサイユ條約により軍備縮少しなかつた國が特定期間に軍備縮少を實行しない場合、ドイツは當然軍備擴張を主張する權利あり
一、ヒツトラー軍事協會は引續き存續させたいから軍隊と區別するために國際委員會設定を承認する
一、ドイツは善隣の精神の下に、近隣諸國と不可侵條約締結の交涉開始をする用意あること

右ドイツの提案に對しフランス政府は十四日閣議を開き、回答するが一蹴することは確實とされる、尙一部で傳へるザール河地方の即時返還要求は第三國への宣傳效果を狙つたものでパリでは嘲笑されて居る

熱、光に變調せぬ尺度檢定器 度量衡檢定所員が發明

〔東京十三日發國通〕商工省度量衡檢定所員は十年苦心の結果今回熱、光にも何等の變調を來さぬ精密な世界に誇る尺度檢定器を發明した

桑中銀總裁一行 今夜（ハト）で歸京

渡日中であつた桑中銀總裁一行は十三日大連一泊、十四日午後七時卅分着「ハト」で新京歸着の豫定である

原大尉二課に轉勤

關東軍司令部第四課にあつて精勵格勤の評高い原大尉は今回第二課へ轉勤することゝなつた、同大尉の後任は第〇〇〇團司令部附寺田秋三大尉で事變以來各地に轉戰した勇士である

日本朝野を擧げて 獨立性强化並に建設を支援 人事は飽く迄愼重に
—遠藤總務廳長歸任談—

十一月上旬上京以來一ケ月に亘り日本政府要路と滿洲國の當面せる重要問題につき打合せ中だつた遠藤總務廳長は十四日午前七時新京着列車で歸任した、氏は語る

上京の時期が恰も豫算問題で政界の最多忙期だつたので、遂々滯京が一ケ月以上になつてしまつた、此の間齋藤首相を始め政府關係要路其他各方面と種々打合せをなし、滿洲國政府が「遂行」せんとする施政方針に對し隔意なき諒解を得た、今後とも日滿兩國政府の完全なる意思疏通を圖り積極的建設に邁進したいと考へる

滿洲國獨立性の强化と共に內政の根本的整備を行ふことは刻下の急務で、行政、司法方面その他財政、實業各部方面に亘つて多數人材を迎へることについて關係各省との間に話が纏つた、司法官の招聘については歸任後新任の古田總務司長と打合せの上同司長が上京、司法省との間に最後的決定をみる筈で、また地方行政機關の充實を圖るため知事級十數名を招聘することについても大體諒解を得た、自分が歸任後政府首腦部の全面的大異動を即行するが如く傳へられてゐるが、人事異動は愼重を要し輕々しく行ふべきものでなく、適材適所主義に依り客觀的に萬人が首肯するものでなくてはならぬ「各人の『長所』を認めて充分にこれを活用させる」といふのが、自分が終始一貫持し來つた人事方針で、一方官吏身分の確立を圖るため任用令、俸給令、退職賜金制を制定すべく調査準備を進めて居るから遠からず實現に至るであらう、治外法權の撤廢及附屬地行政權の移管問題に對しても各方面とも原則的にはこれを承認して居り、此の解決は唯時期の問題である、北鐵問題が停頓狀態にあることは事實で、局面を打開する必要があるが、何分双方の意見に未だ相當の開きがあり、解決は今後の折衝に俟つの外なく、大橋外交部次長にも當分滯京するやう話して置いた、滿鐵改組問題については關東軍と滿鐵との問題なので自分は關與して居ないからお話する事はないが、一ケ月の滯京中に切實に感じたことは日本朝野を擧げて滿洲國の獨立性强化並に建設に對する援助支援に熱意を有し居ることで、この點に「非常」に力强く感じた、今後は益々日滿提携を堅くし、有力な日本資本家がどしどし滿洲へ進出、安心して投資する事を希望し各方面に充分に納得するやう說いて來た

遠藤廳長 執政府訪問

歸任した遠藤總務廳長は午前十時執政府訪問、次で鄭國務總理と會見、滯京中の事務報告をなすところあつた

人事往來

▲人見大佐（步兵第〇〇隊長）十三日午後三時廿五分着京東亞ホテルに投宿、十四日午前六時三十分發吉林へ
▲許蘭州氏外六十名（紅卍字會）同上
▲村上義一氏（滿鐵理事）十三日午前七時着大連から十四日午前八時三十分發哈市へ
▲キジム氏（奉天ソ聯總領事館員）十三日午後三時二十五分着哈市から同日午後四時三十分發奉天へ
▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）十三日午後四時三十分發大連へ
▲十河信二氏（滿鐵理事）同上
▲市川經理部長（滿鐵）同上
▲松本秘書（同上）同上
▲加桑折少佐（關東軍線區司令部）同上奉天へ
▲矢野大佐（朝鮮軍參謀）十三日午後七時三十分着安東から
▲遠藤柳作氏（總務廳長）十四日午前七時着奉天から
▲猪子一到氏（滿鐵運輸課長）十四日午前八時三十分發哈市へ
▲清水鐵道部次長（滿鐵）同上
▲山崎庶務科長（同部建設局）同上
▲迫喜平次氏（交通部總務司長）同上

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一八片一六分九
同 遠限	一八片十六分五
紐育銀塊	四三仙二分一
孟買銀塊	五五留比〇〇
米英爲替	五弗一〇仙〇〇
米日爲替	三〇弗五〇仙
米支爲替	三三弗二五仙
スチール株	四七弗〇〇
アナゴンダ株	一四弗〇〇

▲上海標金

限月	本寄	歩値
現物	一〇一三〇	一〇一三〇
一月限	九仙六	九仙六
三月限	一〇一〇一	一〇仙二七
五月限	一〇仙二〇	一〇仙二〇
七月限	一〇仙四五	一〇仙四五
九月限	一〇仙六五	一〇仙六五
十一月限	七一七五〇	七一八五〇

▲上海日本向 第一回 一〇八四〇 一〇八六五

▲上海倫敦向 買値 一志三片一六分九 賣値 一志三片八分五

▲上海紐育向 買値 三三弗〇〇 賣値 三三弗一六分一

▲大連金鈔票 現物 一二三〇〇 先限 一二五〇〇

▲大連上海向 ●近限 寄付 一三五〇 歩値 一三五〇 出來 引値 一三四〇 高値 一三五〇 安値 一三四〇 不出來 九七五〇

▲大連煙台向 九七三〇

各地市場

▲阪神日米爲替 第一回 三〇四分一 三〇八分五

▲大阪株式

銘柄	寄付	引値
株	一二八二〇	一二八七〇
新	一三四七〇	一三四五〇
紡	二四二〇	二四三〇
新	一三五六〇	一三四九〇

▲同短期

銘柄	寄付	引値
新	一三三〇	一三三四〇
新	一三四一〇	一三五〇
新	一七六〇〇	一七六六〇

▲大連株式

銘柄	寄付	引値
當限	二三七〇	二一五
先限	二三九〇	二三八〇
新	—	—

▲大阪三品

限月	寄付	引値
當限	一九九〇	二〇二〇
一月限	一九七〇	一九八七
二月限	一九三九	一九五〇
三月限	一九一九	一九一〇
四月限	一九〇七	一九一〇
五月限	一九〇八	一九一〇
先限	一八九〇	一九〇〇

▲大阪棉花

限月	寄付	引値
當限	五四三〇	五四一〇
先限	五三三〇	五三二〇

▲大阪期米

限月	寄付	引値
當限	三二八	三二九
中限	三二〇一	三二〇四
先限	三二〇一	三二〇五

▲仁川期米

限月	寄付	引値
當限	一九五	—
中限	二〇八	二〇一五
先限	二〇九	二〇四

▲橫濱生糸

限月	寄付	引値
現物	五八〇〇〇	五八二〇〇
當限	五六八〇〇	五六八〇〇
先限	五七三〇〇	五七五〇〇

▲神戶豆粕

限月	寄付	引値
一月限	三〇八	三〇八
二月限	三一〇	三一〇

新京市況

▲大連特産

	寄付	引値
麻袋 カルメ	三八弗比一六分一	[illegible]
筋	三〇弗比三分一	[illegible]
替	六〇弗比二分一	[illegible]

●大豆

限月	寄付	引値
現物	三八〇厘	三八〇厘
一月限	三七九厘	三七八厘
二月限	三七三厘	三七三厘
出來高	三二枚	—

●豆粕

限月	寄付	引値
袋込	三五	三六
十二月限	三六〇	三六四
一月限	三六	三六七
二月限	三六八	三六九
三月限	三七二	三七三
四月限	三七	三六

●豆油

限月	寄付	引値
現物	一一六五	一一七
十二月限	—	—
一月限	一一五	一一八
二月限	—	—

●高粱

限月	寄付	引値
現物	九七〇	九七〇
十二月限	—	—
三月限	九〇	九〇
四月限	九七〇	九七〇

限月	寄付	引値
現物	一七〇	一七〇
十二月限	一六八	一六五
一月限	一七二	一六九
二月限	一七四	一七三
三月限	一七八	一七九
四月限	二〇〇	一九八

糧豆現物

品目	現物	出來
特産大豆	八七五	一六車
高粱	三八五	六車
包米	四二〇	四車
小豆	九二〇	四車

錢鈔

品目	
鈔票對金票	二一四五錢
現大洋對金票	二〇四〇錢
國幣對金票	二一〇五〇
現大洋對鈔票	九八四二五

脱獄犯人の一人 武藤平人遂に自首

寒さと飢ゑにふるへつゝ 他の三名は尚不明

市民を戰慄せしめた新京總領事館刑務所の脱獄犯人傷害致死武藤平人(三二)が十四日午後七時ごろ震へながら新京總領事館署に自首してきた。同署では直に同人の取調をなしたところ次の如き脱獄經路をかくすところなく自白し犯かした罪に今更ながら悔ひ泣き崩れてゐる

脱獄から自首迄

犯人は十日の日曜日に洗濯をしたのを奇貨とし監房から出入をする際工事場にあつたノミを

「竊取」し、看守の目を盜み監房内に持ち込み逃走の機を窺つてゐた、同日四名が夕食後協議した結果三原が鐵ボートをノミでこぢたので四名は協力し鐵ボートを曲げ四名とも裸体になり衣類を外に出し三原が一番に逃走し續いて山崎、武藤が出た、そうして外で衣類を着し警察官舍東裏に逃れ、土壁を乗越へ西五馬路に出たところ巡警が立哨してゐるため早くも警官隊が自分等を逮捕に向つたのだと知るや同所で四名はばらばらに別れたので三名の

「行動」は然々知らない、それから自分は朝日通に出ると内地人の警官が立哨してゐるのでこれはとばかり直に大街路に出、續いて西か東か判らぬが横に折れて行く内幌便鐵道の踏切に出たが今自分はどこに出てゐるか判らず附近で滿人に煙草と燐寸を貰ひ高粱殼を焚き夜を明し支那人の部落に辿りつき支那語が判らんがとうとう飯を喰はせとうながすと滿人は高粱飯を呉れた後十錢を貰ひ又部落を出て足にまかせて歩んでゐると内建築場があつたそこで内地人に自分は大工ですが使用して呉れと頼んだところ、ここはもう二、三日中に引揚げるから

「使用」出來ないとことはられたがそこで足袋一足を貰ひ又歩んでゐる內飛行場に出たが寒さのために足が思ふ樣に進まないし、又自分は支那語が出來ず地理が判らないので煩悶してゐたがいつそのこと自首した方が良いと考へ歸つて來たのである

全通した 吉林國道

國道局にて竣工を急ぎつゝあつた吉林國道は途中二三の橋梁を殘すのみにて全く工事を終り廣野を貫く坦々たる國道にドライブするもの多し。(寫眞は國道をドライブする自動車)

昨夜時を同じくして 三ケ所に强盗

既報、新京總領事館刑務所の脱獄犯人につき新京署、新京總領事館署、首都警察廳が協力犯人逮捕に大活動を續けてゐるが、未だ犯人が縛につかず市民は恟々としてゐる折柄十三日夜ところを同じくして首都警察廳管內三個所に拳銃强盗が現はれた……十三日午後六時城內西三道街双橋大街二十二號王周元方へ拳銃强盗が押入り

「家人」を脅迫し紙幣百九十圓を强奪逃走した急報に接し首都警察廳で犯人捜査中時を同じくして客馬車夫趙魁五氏が西公園附近で客待をしてゐると二人の滿人男が客を裝ひ三十錢で陸軍官舍まで行くことを約し官舍に行けと命じたゝめ命に從つて行くと官舍から五町ほど離れたところに差懸るや二人の客は馬車から飛び降り矢庭に拳銃を取出し馬車夫を脅迫した末馬具をはずし馬を强奪逃走した、續いて午後七時頃城內三道街馬車夫趙奎武氏が八島通と朝日通交叉點附近で客を裝つた滿人男二名が

「拳銃」を突付け脅迫し現金七十錢、支那衣類一着、支那馬二頭を强奪逃走した目下犯人捜査中である

水不足のため 未だ實現せぬ 各學校のスケート

ぜひ何とかすると當局語る

いよいよスケートシーズンに入つたので地方事務所社會係では今年は西公園リンクのほかに室町、西廣場兩小學校および新京高女の三校を放課後一般に開放すべく學校側の諒解を得ていつでも着手すべく段取は出來てゐるが肝腎の水が相變らず

「拂底」で今のところ一週間十日は實現されそうにもなくスケートファンの氣を揉ましてゐる、尤も近く國都建設局から相當な量の給水を受けることになつてゐるので、これが實現されれば直ちに實施される見込だがこれについて松田水道係主任は語る

どうも未だ一般給水も充分でないためまだ實行までに至らないのは甚だ遺憾だが冬期唯一のスポーツが出來ないやうでは兒童達のために誠に不幸であり、何を措いても一日も早く實行したい積りでいづれ近くこれ以上多少水に

「余融」のつき次第一般市民には第二世のために少し位我慢して貰つて使用水を節約してゞもと思つてゐる、いづれ遲くも年內には何とか出來るはずである

滿洲國を繞つて 某映畫會社のインチキ

最近滿洲國に於ては映畫を各方面に利用し廣く民衆の敎育にまで資せんとの方針で映畫フイルム等現在日本內地より相當の供給を仰いで居る折柄最近某有力映畫會社はよき顧客たる滿洲國の利益を壟斷せんとして滿洲國ではフイルム輸入に際し關稅の他にフイルム一本につき一千圓の保證金を積立させて居るとのデマを各新聞紙上に播き撒らし同業者を牽制せんとした事實が判明したので滿洲國當局では大いに憤慨して居る

滿鐵々道部で 旅客列車運轉時刻改正

大連、新京間停車場は奉天だけ

(大連十三日發國通)滿鐵々道部に於ては本年度旅客列車運轉時刻改正に關し曩に四案を立案し關係課に於て審議中の處其の後重役方面の意嚮により更に第五案の立案を見たので部內全体會議に附議決定の上、更に重役會議にかけ最後的決定を見る事となつた、該案に依ると最大眼目のスピードアツプをなし停車驛は奉天一ケ所のみとして他は全部通過驛とし旅客の便宜をはかる事となつた

これから日曜、祭日も 圖書館開く

全滿で利用者は新京が第一

新京圖書館では從來祭日は全休、日曜日は午前十時から午後三時まで開館してゐたが今後日曜祭日とも通常日通り午前九時から午後九時まで開館し圖書館利用者の便宜を圖ること、但し祭日の翌日は休館する模樣、なほ同館では來る二十六日限りで二十七日から來月六日までは例年通り年末年始の休館をなす、次に十一月中の右圖書館利用者數を見ると

館內圖書閲覽者五千八百名

新聞雜誌閲覽者二千四百十二名、館外持出し一千三百五十五名、合計一萬五百六十七名

前月に比較すると合計において四千七百五十七名の激增を示してゐる、即ち前月は五千八百十名であつた、沿線各地の圖書館と比較すれば十月は新京が第一位を占め、次が撫順の三千八百三十五名、第三位が伏見台の三千七百四十六名、首都新京の名に恥ぢぬ繁昌振である

あす各部隊來京 滿期兵も故國へ凱旋

一、十五日午前三時五分着 〇〇隊〇〇〇名、〇〇隊〇〇〇名來京、同七時三十分〇〇〇へ

一、同日午前三時五十五分着 〇〇隊〇〇〇名、〇〇隊〇〇〇名來京、午前七時三十分〇〇〇へ

一、同日午前四時五十分着、〇〇隊〇〇〇名、〇〇隊〇〇〇名來京、同九時三十分〇〇〇へ

一、同日午前六時四十分着、〇〇隊〇〇〇名來京、同九時三十分〇〇〇へ

一、同日午前十一時三十分〇〇隊〇〇〇名(滿期兵)南行

明春の陸軍始觀兵式 宮中喪で御取止

(東京十三日發國通)明春一月八日の陸軍始觀兵式は宮中喪の關係から御取止めと發表された

戰沒將士の遺骨 あす午後五時着京

第〇〇團戰沒將士六十五体の遺骨は十五日午後五時廿五分新京驛着列車で哈爾賓より到着出迎への鄕軍新京分會員や戰友に護られて同夜は太子堂で通夜十六日午前九時三十分發列車で內地に向け悲しき凱旋をするが、市民はこの英靈に對し擧つて出迎へませう

遺骨二體還る

第〇〇團〇兵第〇〇〇部附故北原泰爾上等兵、同伊藤六之助上等兵の遺骨二体は十四日午前六時海拉爾から輸送され新京驛貴賓室に安置され戰友有志の燒香を得て、同日午前十一時三十分發列車で〇兵第〇〇隊滿期除隊兵と同乘して內地へ歸還した

故勝山修作氏 遺骨還る

去る八日午後新京驛構內で殉職した滿鐵社員故勝山修作氏の遺骨は十三日午前九時發列車で鄕里新潟縣に向け還送された

學業考査で 商業生軍隊の出迎へ出來ぬ

新京商業學校は十四日から十九日までの間は學業考査を行ふので、その間、これまでよく努めて來た軍隊の送迎などには出されないとの事、尤も十五日に來京する戰沒將士の遺骨到着の際だけは何とか繰合せて全校生徒が出迎へる手筈を決めてゐる、考査さへすめばまた斯うしたことには努て奉仕するとの事である

吉林鄕軍 創立廿周年

帝國在鄕軍人會吉林分會は大正二年十二月十四日創立されてより、十四日で滿二十周年を迎へるので、十四日午後一時から同地居留民會樓上で記念祝賀式を擧行したが、十七日は小學校庭で武道大會を開催し士氣を鼓舞する筈である

來年の互禮會 殺到の見込み

申込は早くなさい

來年一月元旦の互禮會は當日午後零時三十分西廣場小學校講堂において開催されることになつた事は既報の通りで目下軍部關係は軍司令部副官部へ、滿洲國關係は總務廳秘書處へ、市中側は各區長へ、各官公衙會社關係は地方事務所庶務係へ申込むことになつてゐるが、今年は例年以上に殺到の見込みであり申込期限の二十日も差迫つたことゝて此際至急申込まれたいとのことである、會費は一圓、會券、徽章引換に申受けることになつてゐる

女給笑子の狂言 自殺?

十三日午後八時ごろ大和通りミス東洋女給部屋で女給笑子(元曙藝妓笑子)こと長崎縣生れ山口マキ(二一)がフラフラしてゐるを家人が發見滿鐵醫院から來診を求めたところ同日午前十時ごろ外出先からの歸途カルモチンを購ひ歸宅ソバに混じて服し自殺を企てたこと判明直ちに滿鐵醫院に收容目下手當中であるが生命には別條なく狂言自殺らしい、笑子のこの自殺未遂には種々複雜した事情がある模樣で新京署で取調べ中であるが、この笑子の服毒は前科がある、たしか昭和六年秋頃、料亭曙に稼いでゐた時、市內某藥店の一人息子と情死をはかり服毒したことがあつて、その時に、女は生き殘つた、その時はカルモチンと猫イラズを嚥下し男は肺を患つて衰弱してゐたので助からなかつたと傳へられるが、笑子はカルモチンだけしか嚥んでゐなかつたともいふ

黑龍江省訪日 文化視察團 愈よ渡日

過般日滿兩當局に對し日本內地の文化の視察を陳情中であつた黑龍江省訪日文化視察團は此の程外務省對支文化事業部の快諾を得、團員一行の旅費の半額を負擔することになつたので十三日ハルピン出發渡日することゝなつた、一行の氏名は左の通り

巴彥縣參事官 石井貫一
呼蘭縣敎育局長 王洪恩
同敎育委員 博學文
同 崔培基
巴彥縣慈善會長 遲克勳
巴彥縣中學校長 高守壽
巴彥縣敎育委員 王德槐
木蘭縣救濟委員長 王
木蘭縣敎育委員 許寶生
同 姜延恩
通河縣局長 李振寶
同敎育委員 田王之
同 彭受昌

日人ゲ、ペ、ウ黨員 德丸市郎逮捕さる

〔ハルピン十三日發國通〕當局の厳戒を物ともせず反滿工作に死物狂ひの活動を續けて居るソ聯ゲ、ペ、ウは邦人をも黨員に引入れ滑行運動に狂奔しつゝある時、福岡生れ德丸市郎(四九)は過去十五年浦鹽にあつてソ聯ゲ、ペ、ウ黨員として邦人を探合し密告を續け第三インター黨部の走狗であつたが、其後浦鹽ゲ、ペ、ウ隊長更迭により日本に歸還せんとしたがならず、ポグラ國境を越へ當地に潛入し埠頭區工廠街九四號に居を構へた所を領事館警察の探知する所となり、遂に取調べを受ける身となつたが、時節柄彼の行動は頗る注目されてゐる

京都帝大の火事

〔京都十三日發國通〕今十三日午前十一時五十分頃京都帝大工學部中央實驗所より出火したが、消防隊の活躍により同實驗所を全燒したのみにて午後零時四十分鎭火した附近には瓦斯タンクあり、一時は非常に憂慮されたが、幸ひ類燒を免れた、出火原因並に損害は目下調査中である

博士連續々召喚さる 學位論文に絡む贈收賄で

〔長崎十三日發國通〕長崎地方裁判所檢事局では朝から市內開業醫三博士及熊本と鹿兒島から二名の博士を召喚する一方、長崎醫大の敎授三博士を任意出頭させ取調中であるが右は博士の學位論文請求に絡む贈收賄事件である

在ハ中國共產黨 全滿の赤化を計畫

〔奉天十三日發國通〕在ハ中國共產黨滿洲省委員會は、北滿問題及び福建獨立問題を契機に、滿洲に於ける共產黨勢力扶植の地下潛行運動を更に擴大し、赤化計畫中で、已に滿人より成る共產黨員を新京に派遣し各地に支部を設置し又一方有力なる本部指導委員を吉長、哈長兩線及び新京の鐵道北工業地、南嶺兵營其他南滿沿線に派遣し、滿人從業員の赤化工作、細胞機關の充實を圖る可く着々策動しつゝありと、右の情報により日滿官憲は極力その搜査に努めてゐる

街の日記

長春寺の佛名會

市內曙町淨土宗長春寺では同宗一年最終の行事佛名會(懺悔會)の法要を十五日午後一時からと同七時からの二回修行するこれは一年中の身と口と意とに依り作つた罪を佛前に懺悔し清淨となつて來るべき新年を迎へやうとする行事で一般の參詣を希むと

カフエー春開業

市內永樂町一丁目六番地カフエー春が十日から華々しく開業した、同カフエーはなかなか面白い組織で、同家の女給はいづれもサロン富士で有名であつた連中八名が共同出資で開業したので市民にはお馴染が深い關係上蓋開と同時に大入滿員の盛況である

拾ひもの

▲城內東三道街無電前客馬車夫李亦菱氏は十三日午後七時五十分大和通と三笠町交叉點で白毛の牡馬を拾つた

▲日本橋通泰昌付店員森本康弘氏は十二日午前五時ごろ新發屯で赤皮製財布在中一圓十錢を拾つた

落しもの

▲大和通十番地池田清氏十三日午後五時卅分ごろ大同自治會館前から客馬車で歸宅し下車の際紙ハサミ在中滿洲國書類若干を置き忘れた

盜難屆

▲老松町十一番地の一島川組山口律郎氏所有の三寸針十二貫時價十二圓亞鉛板時價八圓を十三日午後四時から翌午前八時までの間に驛構內工事場で竊取された

▲中央通三十六番地內田洋行香林香吉氏所有の自轉車一台時價廿圓を十一日午後六時ごろ自宅前で竊取された

▲日本橋通八十五番地新京ビル三階三十一號池田貿易商齊藤靜弘氏方へ十三日午後九時ごろ何者か侵入しオーバー一着時價百二十圓を竊取された

▲富士町七丁目富士寮ボーイ程振和君は同寮で外套一着國幣十圓を十三日午後六時ごろ竊取された

▲城內大馬路商會稲垣宇太郎氏方へ十三日午前十一時二十分ごろ滿人が來たり人絹織二匹時價三十圓を竊取された

けふの銀相場

鈔票對金票	[illegible]
現大洋對金票	[illegible]
國幣對金票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

慶安異聞 艶魔地獄

（上演 映畫化）

玉水三郎

長谷川小信畫

（百二十）

寺子屋歸り（三）

牛込肴町の裏長屋の三軒目に、「植三」とした油障子が閉てられてある。破れ穴から手を入れると、掛金を外すことが出來るやうになつてゐる。

十松は脊伸びして、其掛金を外して、屋内に入つた。

手習ひ草紙を、手拭竿にかけてペタリと坐る。

隣家の羅宇屋の女房は、物音を聞いて壁一重を其儘に聲かけた。

「坊や、歸つたのかい」

「アヽ小母さん、今歸つたよ。いつも有難う」

「今日は三平さんは、仕事場が近いから、早く歸ると言ひなすつたからね。もう少し待つてお在、それから小母さんが好い物を上げるから、ちよいと裏から手をお出し」

十松は直ぐ立つて、裏の濡れ縁へ出ると、隣りの方を覗いた。

女房は紙にも包まないで、冷た燒芋一本を突出した。

「小母さん有難う」

對手が見もせぬのに、押頂いた十松は、立つた儘でそれをムシャ〳〵喰べ始めた。

親一人子一人の三平と十松に、近隣の者は同情して、貧乏同士の身分相應な贈り物をしてゐた。

「エ、毎日、留守を有難う存じます」

それは父三平の聲であつた。飛出してイソ〳〵する十松。

隣家の女房は、手内職してゐた手を止めて、

「三平さんお歸りなさい、大層早かつたねえ。坊が今しがた歸つて待つてゐるよ」

「阿父さんお歸り、今お隣の小母さんに、大きな芋を貰つたよ」

「エツ、又お貰ひしたのか。小母さん例も濟みませんねえ」

「ナーニ少し許りさ」

三平は大きな木鋏を土間へ投げて、狹い一室切りの我家へ上つた。

「アヽ草臥れた、一日仕事を半日に片附けるにやア、並一通りの事ぢやアねえや」

獨り呟きつゝ、十松が大切さうに引附けてゐる、クゴ紐に括つた折を見て、

「坊や、そりや何だ」

「コレね、阿父さん、鰻の蒲燒ツてもんだよ」

「ナ、ナ、ナニ蒲燒、そんな物を何うして、手前何處から持つて來た」

父の顔に一抹の疑念が漂つた。

十松はニコ〳〵して、

「今日ね、神樂坂でお手習ひの歸りに、辰ちやんや金ちやんが、又大泥棒の子だの孫だのツて、苛めたり、打つたりして……」

「エヽツ、又あの餓鬼め等が……忌々しい奴等だ」

「其處へ立派なお侍樣が來てね、一緒に來いつて、向ふの鰻屋へ連れてつてくれてね、玉子燒だの鰻の丼だの、喰べさせてくれてね、阿父さん美味しかつたよ」

「ヘテ、それから何うした」

「家は何處で、お父さんの名はと聞いたから、肴町の裏でお父さんは小島三平だと言つたら、お侍はオヽ三平の子、お前のお祖父さんには會つた事もあるつて、それからみんな知つてるやうでね、今夜家へ來るツて……此折をお父さんに持つて歸れつて呉れたよ」

「フーム……何者か」

三平は折を取上げて、紐を解いた。そして蓋をも開けた。と、折の隅には一つの紙包みが入れてあつた。

金曜 乙卯 先勝 平 亢宿　舊十月廿八日 十二月十五日

●一白の人 好き思案も浮ばず去就に惑ふ日 開業移轉凶 乙と申と丑が吉

●二黑の人 萬事控へ目にして冗費を省くに務めらるゝが吉 甲と乙と辛が吉

●三碧の人 協力一致は過失を防ぎ利益を增すに至らん 亥と癸と寅が吉

●四綠の人 幸運に安んぜず萬全の策を講じ發達を謀れ 丙と亥と寅が吉

●五黃の人 渡るに橋なく險を侵して水を渉んが如き日 庚と辛と壬が吉

●六白の人 沈勇好く大事を爲すべし但甘言に迷ふな 申と戊と亥が吉

●七赤の人 七分の利ありて三分の損あり病厄盗難注意 乙と申と辛が吉

●八白の人 書策も功なく無駄に等し普請造作移轉凶 甲と庚と壬が吉

●九紫の人 南雲冥々の日他事は一切企てざるがよろし 丙と壬と癸が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

支那中部の赤化 ますます釀成さる
四川、康西の共匪勢力を增加 政府の惱み加はる

〔東京十四日發國通〕確實なる筋に達した情報に依れば、四川省に於ける共產匪賊は近來益々其勢力を增加して各地にある兵器卅萬が共匪の手中に歸するに至つた、全四川省は赤化される虞れあり康西の楊虎城の部下も全く赤化する虞れがあり、而して同省が赤化する場合、北部新疆省から南部は康西に亘つて當然赤化するものと觀られるが、更に福建の獨立にはソヴィエート分子の勢力が多數入り込んで居る事は明瞭であるから、これに依り支那中部の赤化する氣運は益々釀成されるものと觀られてゐる

收賄官吏は一律に死刑に
南京政府の新刑法

〔南京十三日發國通〕腐敗官吏の橫行に手を燒く南京政府は先般來新刑法委員會に命じ刑法改正を計畫中であつたがこの程大綱の成案を得た、之に依ると收賄官吏を一律に死刑にすることゝ、且その新刑法は電氣椅子に依つて行ふ事迄も決定し、惡德官吏を震ひ上らせてゐる

在滬共產黨の活動熾烈

〔上海十三日發國通〕江南掃匪の澁滯に續く福建の獨立等政府當局の警備手薄なるに乘じ共產黨、社會主義者等の活動甚だしく、當地は不安の色あり市長呉鐵城は十二日市長、淞滬區司令部の名を以て上海事變以來初めての安民布告を發した

煙筒山鎭大繁昌
避難民移住で

最近煙筒山鎭は附近農民の避難し來るもの踵を接し、非常な膨脹を來してゐるが煙筒山警察分署の調査になる大同二年十二月一日現在の戶數人口國籍別は、總戶數二千三百七十七戶、人口一萬三千百六十九名で、これを前月に比すると二十一戶、百二十七名の增加となる、更に國籍別にすると滿人二千三百三十一戶、一萬三千一十七名で首位を占め朝鮮人三十八戶、百三十二名內地人八戶、十名である、職業の主なるものは露店呉服商の九十軒を始め、露天雜貨商の四十軒、豆腐商の四十軒、藥種商、菓子商の各十軒、喝啡館の九軒等で、匪賊の巢の如く考へられてゐた同地も王道樂土の光がきざし、斯く住民は樂業してゐるものと見られてゐる

支那學生間に日本語熱盛ん
留學生續々日本へ

〔東京十四日發國通〕確實なる筋への情報に依れば北平附近に於ける支那學生間に日本語習學熱旺んとなり、各大學に日本語講座を開始してゐないものは殆んど無い程で、日本語學校はその經營の良否を問はず滿員の盛況で、日支停戰協定後今日まで四百餘名に達する多數の留學生を日本に派遣するなど今迄に無い盛況である。但し之を以て親日氣運と觀るのは尚早で、最近の日本が非常時克服のため決意を固め擧國一致邁進しつゝあると共に東亞の情勢は最早日本を度外視しては意味をなさぬことを自覺し、日本に對する關心を深めた結果であると察せられる、而して清華、燕京兩大學の如き米國系學校からも本日留學生を出すに至つたなど頗る注目されてゐる

年末金融界平穩を見越し 米券公債の買入申込

〔東京十三日發國通〕年末の金融市場平穩を見越し日銀に米券や公債買入れ申込多く十三日には日步七厘の米穀證券八百萬圓と四分利公債千萬圓を賣渡された、右は來年も今年以上の低金利を豫想され居ることを物語るものである

大同セメント設立登記のため 兒玉國雄氏來滿

〔大連十三日發國通〕日本のセメント業者十社の共同出資により吉林哈達灣に設置される大同セメント會社の設立登記手續のため同社員兒玉國雄氏は十三日「うらる丸」で來連したが船中で語る

大同セメントは資本金國幣三百萬圓全額拂込濟になつて居ります、たゞ今工場の方は機械を据付中で操業は明年の解氷期になりませう、會社の設立準備は既に出來て居るのですが政府の登記手續が濟んでゐないので今度は此手續を濟ませる心算です

尚氏は十三日午後十時發列車で吉林に向ふ豫定である

伸縮自在なる
滿鐵改組現地案內容
種々な意味で理想的なもの

滿鐵改組案もいよいよ十三日の最終協議で決定し、中央に移されることゝなつたが、改組案は、現地案としては、詳細な具體案は中央に於て研究することゝして方針を示す程度の伸縮自在なものとなつてゐるらしく、殊に兩者が一番苦心したのは地方部の獨立と『附帶』事業の分離整理問題で附屬地からの歲入三百萬圓に對し、地方費は千四百萬圓支出されてゐるので離したいのは離したいがそれをおいそれと引受けるには、滿洲國の現下の財政狀態として出來ず、附屬地の經營に對する何等かの新方法が發見されるまでは現行の方法を踏襲する外途なく、附屬地返還を前に控へてさうさう地方費を支出させるわけに行かず、そこで、返還する際のために問題が起らぬ樣『保證』的な案を練つたので、又附帶事業は今日まで舊軍閥と對立してゐたときは滿洲唯一の滿鐵を通じて附屬地の產業を開發するより途がなかつたが、今日では既にその心配もなく、現在の複雜な綜合經營を單一化する必要に迫られて來たもので、その他內地資本家は滿洲の產業は滿鐵が專有してゐるものとして今日まで進出しなかつたので、この附帶事業といふ餌で內地資本を釣り出す一方舊資本主義を修正して、ホールディングカンパニーによる金融及び事業『統制』を行ひ統制經濟の實現を圖るわけでこれによつて從來の滿鐵が金融部がなく株主と社債による事業資金で事業を遂行する危險からも脫却したわけで今回の改組案の內容は種々な意味に於て理想的な案と云ふべく、滿洲國の產業開發上裨益するところも又大なりと云ふべきである

應募卅倍の電々會社株券
待望裡に交付開始

待望の滿洲電信電話株式會社株券がいよいよ交付されることになつた、即ち滿洲に於ける日本金建株は已に去る十一日から全滿鮮銀各支店で『手續』をとりつゝあり、國幣建株も明十五日から全滿一齊に中央銀行扱ひで各株主に交付されることゝなつたがこれよりさき本年三月二十六日同會社の設立が發表されるや最初の日滿合辦會社であり兩國政府の監督庇護に依り、官業と同等の特權が附與され殊に株式所有者に對しては民間優先配當等の條件が附せられて居る關係上一般二十八萬株に對し約三十倍に當る八百三十三萬株の申込あり、會社側では此の驚くべき申込に對し責任のいよいよ重大なるを感じ一部資本家にその『利益』に壟斷されるが如き事なきやう愼重且つ公正なる態度を以て進み苦心檢討の結果總株主一萬七千餘名に對し適正公平なる分配を爲すことになつた、なほ同會社では事業夫自體が一般公衆の文化生活に重大なる關係を有する關係上そのサービスには萬全の注意を拂ひ迅速、安全、確實をモットーとして有能なブレーントラストを形成し公衆の利益增進に向て邁進することになつて居る、これを要するに同會社では此事業の繁榮は延いて人民の『利益』增進となり一方今後とも國家的見地からして治安維持國防擁護に合する樣苦心して居るので日滿兩國民の熱誠なる援助を希望してゐると

明年度發行公債の豫定額
結局十萬圓を超えん

〔東京十四日發國通〕明年度發行公債豫定額は一般會計七億八千五百萬圓、これに查定中の特別會計新規公債一億三千萬圓見當を合計すると九億千五百萬圓で、今後提出の追加豫算は例年に徵すると二、三千萬圓內外で、この外に滿洲事件論功行賞の五千萬圓と保障生糸買收等の公布公債一億近くあり、結局十億二、三千萬圓に達する見込である

滿洲國財界
過去一箇年の回顧（二）
滿洲中央銀行副總裁　山成喬六

次に金融方面に於て通貨の關係を申まするのに滿洲中央銀行は其の創立當初よりの方針に基き、經濟界の情勢に應じて紙幣の發行を調節し、準備の充實を圖り、爲替關係の推移に留意致しまして通貨の安定を期して居たのでありますが、幸にも開業以來通貨は安定し、物價の變動少く、紙幣の流通は極めて圓滑であります。發行高は年初特產物出廻り最盛期に於て一億五千五百餘萬圓に達し、夏季即ち金融の最も緩漫なる時期に於ては一億四百萬圓に下り、現在發行高は一億一千五百萬圓でありまして、準備は常に六割內外を維持して居ります。現在發行高が昨年當時に比して幾分低下して居りますのは主として本年は閏月がありまして農產物の出廻り一箇月以上も遲れて居ることに原因して居るのであります

更に舊紙幣回收の狀況に就て見ますると、昨年舊行號より引繼ぎました舊紙幣總計一億四千二百萬圓中、本年十一月末迄に回收致しました總額は一億三百餘萬圓でありまして、其の回收割合は七割二分八厘に相當致します。斯樣な狀態でありますから、決定の期間即ち明年六月末迄には無事に全額を回收し得ることと存じます

次に補助貨でありますが、補助貨たる硬貨の發行も亦貨幣法の定むる所により、本行に於て其の製造發行を委ねられて居るのでありまして、昨年開業以來其の準備を急ぎ、漸く本年五月に造幣廠の設備を了り、先づ一角並に五分の白銅貨幣を發行し、八月より一分並に五厘の青銅貨を發行し、之にて貨幣法に定められた所の各種貨幣全部の發行を爲すこととなつたのであります。而して現在發行高は百五十萬餘圓に達し之等の補助貨は國內到る處歡迎されて居ります。滿洲國は比較的民度低き關係上補助貨の需要も相當多いので目下全能力を擧げ晝夜作業をなし、補助貨の供給に努力致して居る有樣であります

更に本行營業方面の概況に就て之を見るに、滿洲に於ては從來金利が著しく高率であり且つ各地方により甚だ不同でありましたので、先づ其の統一と低下に努め大体に於て從來の金利と日本其の他の先進國金利との中間程度を目標として金利の統一を圖り更に本年七月金利の引下を行ひ、國情に從ひ漸次金利低下に努め產業の振興に資して居ります。現在では割引日步二錢二厘以上の程度であります。而して一般貸出金の主なるものは申すまでもなく特產物に對するものでありますが、本年は北滿地方に於ては水害及び匪賊の被害に依り農村著しく疲弊し作付さへ出來ざる狀態に在りましたので政府當局に於ても其の救濟に腐心せられ本年初め春耕資金即ち農作に對する特別融資の方法を樹て本行其の貸出しの衝に當つたのであります。之が即ち春耕貸款と稱せらるるもので其の總額一千二百五十七萬餘圓口數八萬二百七十口の多きに達して居ります。誠に手數のかかる貸出ではありましたが之により救はれた農家は蓋し尠くないことゝ思ふのであります。幸に本年は豐作でありますから其の回收も概して良好であらうと豫想されて居るのであります。尚は北滿各都市の商工業者に對しても商工業復興の爲め運轉資金融通の必要を認め商工貸款として融資の途を與へ又最近に於ては所謂豐作飢饉救濟とも申すべき意味にて黑龍江省特產共同販賣組合に對し、物產擔保にて特別融資の方法を講じて居ります。此の外地方の特殊事情の改革に依る市面救濟の資金例へば營口に於ける過爐銀制度の廢止に伴ふ營口商業銀行設立に對し資金的援助をなせるが如き其の一例であります。此の如く本行は國內金融の整備並に產業の開發に對し漸進的方針の下に積極的活動を致して居ります

吉黒邊境の攪亂を圖つて
王德林、唐聚五出發か

達爾漢王府興安警察局より某所入電によれば、最近南京政府の對日對策軟化に不滿を抱く河北方面文治派の抗日浪人並に舊東北軍閥失業官吏は同志の手により反滿抗日を企圖すべしとて最近文治派の巨頭前奉天教育會長王化一（現北平救國會長）は北平救國會の手を通じ全滿各地に散在するキリスト教會と聯絡をとり滿洲國情報蒐集に當ると共に馬占山、王德林、唐聚五等はソ滿國境の緊張に乘じ吉黒邊境の土匪を買收し積極的攪亂を圖るべく企圖し、軍費武器の蒐集に運動中であつたが數日前王德林、唐聚五の兩名は軍費多額を擁し部下三十餘名を率い變裝して內蒙古を通過、吉黒邊境攪亂の爲出發したと

ブラゴエ附近の防備益々嚴重
鮮人を放ち日軍の動靜を探る

〔黒河十四日發國通〕某所に達した情報に依れば對岸ブラゴエシチエンスクに集結したソ軍は二萬に達し、各所駐屯部隊は滿洲國に於て治外法權となつて居り、且容易に國境を通過出來る朝鮮人を密偵として旺んに江南に來り、日本軍の動靜を探りつゝあり、アムール沿岸の五道話[illegible]より黃河口まで各山地及び高地に地下砲臺を構築し、更に主要道路の要所に地雷を布設してゐると

陸軍異動

〔東京十四日發國通〕荒木陸相は陸軍定期異動の內命を昨十三日發した、今回は師團長以下支那駐屯軍司令官以上の轉補を明年三月へ持越すことゝなつた、重なる進級並に異動は大体次の如きものである

陸軍重砲兵學校長　少將　時乘壽
陸軍科學研究所長　少將　久村種樹
參謀本部總務部長　少將　橋本虎之助
任陸軍中將（各通）
陸軍經理局長　主計監　小野寺長治郎
任主計總監
陸軍技術本部員　工兵大佐　松井勝二
陸軍輜重兵監部附　輜重兵大佐　加納寬道
陸軍教育總監部庶務課長　步兵大佐　吉住良輔
第六師團參謀長　輜重兵大佐　佐々木吉良
關東軍飛行隊長　航空兵大佐　牧野正迪
關東軍司令部附　工兵大佐　高屋晴彥
命陸軍省出仕（各通）

大豆混保檢査 查定委員決定

既報、昭和八年度產大豆混保管檢查標見本查定は二十一日午前十時半から（二十日とあつしも一日延期）公主嶺農事試驗場で開かれるが日本人側委員は次の通り決定

鐵嶺山田特產組合長、橋本同組合評議員、四平街木村富吉、敎家店前田豐吉、公主嶺海江田特產組合長、小松糧業組合長の諸氏

新京の二委員は目下詮衡中

武勳赫々……
凱旋兵の出發
驛頭盛んな見送り

事變直後上海より渡滿し爾後各地に轉戰、武勳を樹てた新京駐劄步兵第〇〇〇隊の〇〇名は小野村〇尉指揮の下に十四日午前十一時半多數官民の萬歲の聲に送られ大連經由懷しの神戶へ向け凱旋した

田代司令官歸京

田代憲兵司令官は川人大尉帶同一週間餘に亘り間島方面を視察中であつたが十四日午後二時半龍井村より飛行機で歸京した

電柱の火事 野次馬で大賑ひ

十四日午後六時三十分ごろ東二條通カフエー人形座前電柱の高壓器から發火したが何分人通りの多い盛り場のことゝて野次馬連押しかけて大賑ひであつた

人事往來

馬場憲兵隊長　新京憲兵隊長馬場龜治氏は既報の如く前厚特務曹長を帶同し鄭家屯、通遼の分隊分遣隊を初巡視をなし、七日歸京したが歸途通遼でペスト患者が發生したため歸京後自宅で隔離靜養中のところ十三日から出勤した

天氣と氣溫

十四日の氣溫最高零下五度七最低同十五度八、十五日の天氣西の風晴れ一時曇

佐藤書記官 廿七日東京發

外務省條約局第三課長より駐滿大使館書記官に榮轉の佐藤庄四郎氏は來る廿七日東京發赴任の途につくことになつた

同書記官は大藏省より外務省に入り、國際聯盟帝國事務局附として大いに活躍し、後本省に歸り條約局第三課長となり、今回現職に榮轉したものである

水野錬太郎氏 樞府顧問を拒絕

〔東京十四日發國通〕水野錬太郎氏は十三日午後四時半齋藤首相を訪問し、樞密院顧問官就任を拒絕した、尚拒絕理由は貴族院での活動を希望するからであると觀られてゐる

滿鐵正副總裁 飛機で上京

〔大連十四日發國通〕滿鐵正副總裁は西脇杉本兩秘書を同伴、廿日東京で開かれる株主總會に出席のため、十九日朝周水子飛行場發東上する事となつた

滿電支店で 女事務員募集

滿電新京支店では歲末マーケットに臨時女子事務員二名を急募する期間は十二月十五日より同二十五日まで十日間で日給金二圓三十錢で成績により別に手當を支給する希望者は履歷書を携帶同店營業係へ至急申出られたいと

名案冬二題

近頃火災頻々 原因は大抵煙突から
前例既に威海衛にあり

ちかごろ瀕々と起る火災の原因、多くは火の氣の無いところから出たのだ漏電だらうと先づ第一に云はれるが調べて行くと煙突の不完全に起因するものが多い、最近梅ケ枝町の料亭一つ家の焼けたのも煙突が不完全であつたゝめと判明した、滿洲の建築規定などはずいぶん面倒な條文があるやうだが設計仕様がそれに適ひさへすれば承認されるだけで實際に就ては何の檢査も行はれてゐない、つまり建築の承認さへ得てしまへば後は都合でいろ〱

『模様』替へをする間取りの都合などで無理なところへ煙突を設け知らず〱に木材部に密接させてしまつてこれがやがて禍ひを醸すこととなる晝夜間斷なく焚かれる煙出し個所と木材部と接近してゐると乾燥から引火へ、消炭が熾るやうに焼けこんで行つて遂に取返しのつかぬ火災を起してしまふ、煙突が木材部に接近して居ないでも煉瓦積みが粗雜であると隙間から天井へ煤を吹き出し積り積つて風の吹き廻しで火の粉がはいつて火事の原因となることもあると云ふ、往昔威海衛の英國租界ではこの點に非常に留意し建築に着手すると監督官廳から技師が出張して具さに實地を檢査し苛酷と云はれるほど嚴重に

『看視』し、その煩はしさに怨嗟の聲さへあつたが、次第に馴れて建築規定を遵守し進んで技師の立會檢査を望むやうになつた結果は烟突の不完全による火災が絶無となつた例があるさうである、尚傳へられる處によると威海衛では煙突煉瓦積みには特殊な塗積材料が考案され、内面に塗裂し龜裂を防ぐことゝなつてゐるさか、いづれにしてもちよつとした手ぬかりから祝融氏の乘ずる處となるから細心の注意が肝要である

凍るガラス窓 凍らせぬ秘訣は?
これは簡單で安上りだ

滿洲の冬一番困ることは硝子窓が凍結することで商店などは折角苦心して飾窓を飾りつけても寒氣で曇り徒らに行人に素通りさせて了ふので

『硝子』窓を凍らせない方法が頻りに研究されてゐるが、さすがに露西亞は長年研究してゐるだけに飾窓の不凍法を心得てゐる、即ち硝子の兩面を石鹸水又はグリセリン、ワセリン等で拭きあげ、水蒸氣が出來ても水玉が硝子に止らず下に積んだ鋸屑の中に流れ落ちる方法をとつてゐるが、この方法であれば約一週間は凍結しない又飾窓の内から扇風器で冷却し外の温度と差がない様にする方法もあり、これは滿洲で凡ての設計を

『引受』けてゐるが一間物の窓に扇風器が二台要るので石鹸水で油脂劑を使用する方法が一番輕便で安價である

お正月料理の値段が決まりました
昨年とは大體同じで三種類
ぼれば容赦なく處分

正月用品の暴利取締の徹底を期すべく新京署保安係では井上保安主任以下各係員は一生懸命で調査を進めてゐたが十四日は午前十一時から市内の仕出し業者、二條軒、桃太郎十八番、市場食堂、奴すし、竹、三喚屋、以上の七軒の代表者を同署に集め正月料理重箱詰の値段の協調をした結果、重箱四段詰、三十種入として十五圓、二十圓、二十五圓の三種と決定した、この外各家庭のお好みにより別品がある、同値段は大体昨年と同等であるがもし前記の値段以上に請求するものがあつた場合はどし〱摘發することになつた、なほ三種のうち一般家庭に注文されるものは二十圓のが一番多く使はれると分が出るわけで、殊に食料品は、一般家庭で自家用より贈答品としての賣行きが良く、二十日頃からが、一番賣りあげが上るだらうと

「日の出」新年號附錄 ホノルル稅關で沒收さる

【ホノルル十三日發國通】新潮社發行雜誌「日の出」新年號附錄の「日米戰未來記」はホノルル稅關で全部沒收された、雜誌が稅關で沒收されたのは始めての事である、右につき新潮社では

あの附錄は小說だから問題にはならないと思ふがと語つた

揚げ高を割き哀れな人々に
歳末の同情週間に際して 新京キネマの美擧

この程新築開館した祝町の新京キネマでは來る二十日から二十三日まで三日間のとけ高の二割を十四日から催されてゐる歳末同情週間の同情金として獻金するが、二十日からの上映は片岡千惠藏

『主演』闇討誰、高津慶子共演の「國定忠次」實錄篇とナンセンスものとして杉狂兒、高津愛子共演の「お前さならば」で何れも日活の優秀作である入場料は階上八十錢、階下七十錢なほ同館を訪へば館主に代り三戸支配人は次の如く語る

館主もキネマ館としてかねてから困つてる人々に對して何かしようと思つてゐた矢先に教化團体で同情週間を催されると聞いて同情金獻金を思ひ立つたのです

『寫眞』もどうせやるからには最もよいものをと思つて大津の方に掛け合つて急いで取寄せることにしました、初日は晝間はなく夜間だけ

近頃は實用品
クリスマスの贈り物

クリスマスが近づくにつれてクリスマスの贈答品が商店に陳列され、殊にクリスマスは子供用品が主に賣れるところから各商店共クリスマス贈答品は殆ど子供用文房具、玩具帽子、小供雜誌、服に限られ女學校生徒向きに「毛糸編物」「子供服の裁方と縫方」などの本も用意されてゐる

『値段』は書籍で一圓五十錢から二圓までで、文房具で一番大衆向きなのは鉛筆で、一打三十二、三錢位から外國品の七十錢位、クレヨン十二色入り組合せ文具一圓三、三十錢位のものが一番多く賣出され、四、五圓もする子供服(幼兒用)や十二、三圓する女兒用服は全く賣れない、又クリスマス用品の外に一般賣出しの方は、冬物仕入れ後商品相場が下落した爲この賣出しのドサクサ紛れに何とかして賣つて了はねば越年すれば損をすると判つてゐるので陳列窓には綸子織、帶等の婦人用品を並べて歩づ拂手から購買心を煽りつゝに膨れたボーナス入りの財布を待つてゐる、市中聯合賣出しも今日までのところ寒氣で客の出足が惡く輸入組合の豫想では

『目下』景品券は八千枚程度しか出て居らず、十四日幾分寒氣も少くなつたし、陽氣も良くなつたので、幾分客足を誘つてゐるので、これから月末にかけてがホントに賣出し氣

鹽 乾魚類の運賃値下斷行
鐵路總局が社會政策的に 愈よけふから實施

(奉天十四日發國通)鐵路總局に於ては嚢に國線の旅客運賃値下を斷行したが、この程社會政策的見地から鹽を三級品として取扱つて居た鹽、乾魚類を四級品に變更(運賃二割九分低減)し十五日より之を實施することとなつた、右實施により沿線各地の農民は廉價に日用品を購入することが出來る譯で早くも各方面より好評を受けて居る

木藤騎兵少尉が美事なる戰死
滿洲國軍の吉林省匪討伐に

滿洲國陸軍騎兵少尉木藤秀彥氏は十二月七日午前一時共產黨および其他の聯合匪百名の夜襲を受け名譽の戰死を遂げたが氏は十月第二松花江附近に駐屯中の滿洲國日野騎兵支隊に入隊、大小幾數十回の戰闘に參加し常に滿洲人に卒先して

『敵中』に突入し拔群の功を奏したること一再ならず、滿洲人の信望最も厚く眞に慈父の如く尊敬せられてゐた人今回の吉林省匪大討伐に際し十二月六日午前八時第四營本部及第七連と共に縣城を出發し午後二時驛馬牌子到着、此の地に該部隊を位置せしめ、更に少數の兵員と共に呼蘭街に向ひ前進し午後八時該地に到着し兵營に宿泊するや夜一時共產黨匪約百名は暗夜に乘じて第八連本部を襲來し步哨及衛兵を拉致し園壁内に侵入したる少尉は此の

『物音』に驚き窓外を見れば多數匪賊は營庭を右往左往してゐるので直ちに附近に居合せたる兵員を指揮して射撃を行つたところ敵は漸次接近し來り遂に格闘となり、勇敢に奮戰したるも衆寡敵せず一彈飛來して頭部に命中し名譽の戰死を遂げたものである

兒童に映畫
新京公學校で

新京公學校では兒童に衛生思想を普及させる目的をもつて十四日文教部からフイルムを借入れ同日午後一時から全兒童に映寫見學させた

年末から年始への郵便物差出しの注意
年賀郵便は二十日から受付
贈答品は遲れぬ樣

今年もいよ〱押詰つて餘すところ十數日となつたが年賀郵便年末首の郵便事務等に就き注意を要する事項を掲げて見ると左の通りである

年賀郵便の特別扱

△年賀特別扱郵便物の範圍 書狀、葉書、名刺封入の第四種(名刺には「謹賀新年」等四字以内の慣用語を印刷することを得)以上免料軍事郵便の外は總て料金完納のものに限る

△特別扱の期間 十二月二十日より二十九日迄

昭和九年元旦の日附印を押して配達局へ送り込み元旦を待つて配達する仕組なるゆえ遠方に宛つる年賀狀は一日も早く差出す方が發受人双方に便利である

△差出上の注意 イ、差出場所 郵便局の窓口が一番宜しい、但し少數の場合は封筒に入れ又は十文字に堅く縛つてポストに入れても宜しい、若しポストの中で紐が解け又は切れた場合は他の郵便物と混同し特別扱が受けられないから縛り方に特に注意を要する

ロ、宛名の書き方 宛名の書き方が不完全だと延着又は配達不能となる虞があるから正確に明瞭に記載することが肝要である

ハ、支那宛の年賀狀 關東州以外の滿洲各地から支那へ宛てて着送する郵便物に對しては支那局で未納料金を徵收するから差出上注意を要する

ニ、滿洲國內宛の年賀狀 日本郵便局所在地外の滿洲國宛年賀狀は附屬地日本局の手を經ず直接滿洲國の郵局へ差出した方が速達するから此の種の年賀狀は滿洲國郵便に依るのが便利である

ホ、料金注意 附屬地日本局相互間に發着する有封書狀及郵便葉書の料金に限り書狀は二十グラム迄毎に四錢葉書は二錢であるから特に注意を要する

年末首ノ郵便局事務

△現金受拂事務の祭日扱と時間延伸 イ、十二月二十五日は大正天皇祭當日であるが平日の通り取扱ふ ロ、十二月三十日三十一日の兩日は午後六時迄取扱ふ

△休止事務 イ、集金郵便 受付は十二月二十五日より一月三日迄取立は一月一日より七日迄 ロ、市内特別郵便の引受 十二月二十五日より一月七日迄 ハ、月掛貯金の集金 一月一日より三日迄 ニ、保險料年金掛金の集金 一月一日より五日迄

年末首通信と小包

差出方

△贈答品小包の差出方 從來の例に依ると年末には贈答品小包が殺到する爲遞送が圓滑に行かず平常に比し著しく延着する傾向があるから押詰らぬ内になるべく早く出すのが宜しい

△年末首の內地朝鮮宛葉書通信 十二月三十一日から一月五日迄は特別扱でない年賀狀が殺到する爲內地及朝鮮宛葉書に限り平素と異なる遞送方法に依る結果幾分遞延を免れぬこととなるから此の期間急用の通信には有封の書狀又は封緘葉書を利用するが宜しい

われ等の犠牲 遺骨六十五体
けふ午後三時着く

既報の通りけふ午後三時二十五分着列車で哈爾濱から第〇〇團の遺骨六十五体が到着するから是非とも全市民團体は振つて驛頭まで出迎へに出るやうにしませう、遺骨の行列は驛から中央通りを經て祝町を左へ折れて太子堂に行くことになつてゐるが沿道の住民で二階の窓から顏を出したり、屋根、物干し台で立ち見しないやう嚴守しませう

藤岡看護兵遺骨 長春寺に安置

第〇〇團第〇〇隊附故藤岡上等看護兵の遺骨は十四日午後三時二十五分着列車で哈市から輸送された、驛から自動車で直ちに長春寺に移され同寺に安置された、十六日輸送の六十五体の遺骨とゝもに內地へ輸送されると

義士の討入り 昨日は記念日
兩小學校でも催し

きのふは大和魂の花と歌はれた義士討入りの記念日に相當するが西廣場小學校ではその日午後一時から四年生以上の兒童は自治會の主催で義士會を催した、先づ幹事(兒童)の開會の辭から初め瀨川校長から義士についてのお話あり尋常六年の一兒童のお話、尋常五年兒童の朗讀、前原訓導が天野屋利兵衛のお話、閉會の辭、最後に會員各自持參の會費十錢でぜんざい甘栗の喰ひほうだいで義士のおそばの代りにした、室町小學校では當日朝會の際上原校長から全生徒に對して義士に關するお話があつた

全滿聯合婦人會代表者會議

全滿聯合婦人會代表者會議が來る十六日午前十時から滿鐵公館會議室で開催されるが當日は各地から代表者參集み記の順序で行はれる

開會の辭、君が代(二唱)挨拶、會長祝詞、議長選擧、書記選擧、議事懇談會、國歌、閉會の辭

脫獄三犯人の行方依然不明
當局聊か落膽氣味

新京總領事館刑務所の脫獄犯人のうち武藤平人(三三)が十四日自首したのみで他の三名に就いては各署で必死の活動を續け逮捕に努めてゐるが依然三名の足取は全く五里霧中である、新京總領事館本部では猪股主任が署員を激勵するとゝもに各署からの情報を待つてゐるがいさゝか落膽の氣が窺はれる

プロペラに觸れ重傷

(新義州十三日發國通)本日午後三時四十分當地飛行場に於て奉天行滿洲航空會社旅客機が出發の際鮮人使用人李健昌がプロペラを回轉せしめた際過つてプロペラに兩足を觸れ負傷を負つた、李は直ちに病院に擔ぎ込んだが生命には別條なしと、尚これがためプロペラに故障を生じ同日は飛行不能となつた

新聞聯合支局長更任挨拶

新聞聯合社新京支局長大岩利嘉雄氏大連支局長に轉じ後任として小野敏夫氏來任十四日兩氏同伴更任挨拶に來社した

居住消息

▲増田國作氏(靜岡縣)大連から花園町三丁目四十三號ノ一へ

▲堀井朝惠氏(京都府)大石橋から敷島通り一丁目三番地へ

▲岡井丑郎氏大連から花園町三丁目五番地四十七號ノ一へ

▲田中義廣氏(山梨縣)大連から白菊町五丁目三番地四十二號ノ一へ

轉居

▲廣田豐藏氏 日本橋通り七十八番地から祝町四丁目十六番地へ

▲御保源助氏 中央通り二四番地から彌生町一丁目局官舍へ

▲川田孝朝氏 東一條通り五十八番地から羽衣町三丁目十四番地へ

▲武內力氏 中央通り經濟調查會出張所から山吹町二番地櫻木寮へ

▲渡部良氏 富士町七丁目三番地から興安胡洞四百十五號中銀宿舍へ

▲若園義郎氏 常盤町一丁目十二番地から山吹町二番地櫻木寮へ

▲檜谷武夫氏 富士町七丁目三番地から興安胡同四百十五號渡部方へ

▲高橋仁一氏 中央通り十四番地から錦町二丁目三番地へ

▲辻山貞助氏 祝町三丁目中央公館興安胡同四百五號中銀アパートへ

▲加賀田太二氏 西三條通り敷島寮から日本橋通り六十二番地澤山方へ

▲信川正氏中央通り五十番地から花園町二丁目二十五號ノ二へ

△九日夜南街の藝者部屋で茶目公がキハツ油をいぢつてゐるとどうしたはずみか弁のキハツ油に點火、黑煙濛々として「キャッ」「ヒーッ」の悲鳴をあげて逃げ惑ふ中を、千代香はお帳場から大きな縫瓶を引ッ掴けて馳せつけ消防に努めた結果大事に至らず消しとめたが、茶目公は手に全治一週間の火傷、千代香は座布團を焼いて了つた

▲日出町二丁目十四番地中山東水氏長男滿洲男さん六日出生

▲花園町三丁目四十八號ノ三石井鐵二郎氏長男俊彥さん九日出生

新京區公示第二一號
野犬驅除ニ關シ左記ノ通告示アリタルニ付公示ス
昭和八年十二月十五日
南滿洲鐵道株式會社新京地方事務所長 荒木章

新京警察署告示第八號
本月十八日ヨリ二十三日迄新京附屬地ニ於テ野犬驅除ヲ行フニ付飼犬ニハ其ノ飼主ヲ知リ得ヘキ頸環又ハ牌子ヲ附シ置カルヘシ
昭和八年十二月九日
新京警察署長 高山勝司

譯文
新京警察署告示第八號
新京警察署長高山勝司出告示諭事照得現訂自本月十八日起到二十三日止在新京附屬地一帶即城驅除野狗凡飼養家狗人等一体知悉須先得其飼主之姓名寫木版環牌予等掛套在狗脖爲要

ラヂオ講座

(十二)　新京放送局長　加藤誠之

(ハ)受信機とスピーカー

受信機は繰返し申上げましたが如く送信機と組合はさつて音を電波に化えて更に音に歸す裝置であります。それで受信機として第一番に必要なことは成るべく忠實に原音に復すると云ふことであります

送信機の方は受信機に較べて遙かに品質の好い裝置を使用して居りますから故障か又は調整を誤らない限り大程著しい音の歪は起つてゐないのでありまして、一番音を歪ませる所は高聲器、次いで受信機であります。普通受信機には高聲器は付隨してゐる譯ですが、こゝでは説明の便のために分けて考へます

受信機の中で音の歪の最も起り易い所は檢波といふ周波増幅部分であります。惡い材料を使ひますと何うしても音がカン高くなります

ラヂオは音に初まつて、音に終るもので結局音で片付くのでありますから、私共に致つては電氣よりもむしろ音の方が大切なのであります。そこで此ラヂオが始まつて以來非常に音の研究が進歩致しました。即ち電氣音響學と申しまして音を一度電氣化し、再び音に直して音と電氣、電氣と音との關係の研究を初めたのであります

話は余事に入りましたが扨てこの受信機には何の樣な種類があるかと申しますと、鑛石受信機、眞空管受信機、眞空管と電池或は一球二球三球四球等或は再生式高周波増幅式スーパーヘダイン式といふ風に種々の種類があります

先づ鑛石受信機と申しますのは一切眞空管の使用しない極めて輕便な受信機でして、値段も四、五圓で出來るものであります。只これは増幅を一切やりませんから電力としては空中線に受けたもの丈でありますし、一般には高聲器を鳴らす丈の電力がありませんから受話機で聞くのであります。只電波の非常に強い所では鑛石でラッパを鳴らすことが出來まして之を鑛石ラッパと申し仙臺で盛に用ひられてゐます。是は放送所に極近い所でないといけないのでありますが此處に一〇〇キロが出來ますれば勿論當市中は何處に行つても樂に鑛石ラッパが利用出來ます。然し勿論遠距離の受信は全く出來ないのであります。是は非常に樂に組立てられますから、小學校の生徒さん方の理科のオモチャに喜ばれて居ります

次に眞空式でありますが先づエリミネーター式と電池式之は別項に申上げますからこゝでは省略致します

其の次は球數のことでありますが之れは受信機をお持ちの方は中をのぞいて眞空管の數を算えて戴けばすぐ分ることでもないことでありますけれども一番球數で問題になるのは球の數と感度との關係であります

同一會社で同一方式で作つた同程度の品質のものならば球の數は多い程感度がよく、音量が多いのであります、然し或る場合には感度なり音量なりを犠牲にして音質をよくしたものがありますから同一會社の製品でも必ずしも球の多いのが感度がよいものと限りません、尚眞空管は種類に依つて感度なり増幅度なりが違ひますから安い球を使ふ結果として球數の割に感度の惡いものもあります、殊に最近はどん〳〵新しい型の眞空管が作られて居ります。新しい球は研究費や特許の關係で價格が高いので、使ひ難いし實用品としては何うしても型の古いものが多く使用されます

安價に誰にも出來る　クリスマス＝デコレーション　子供自身に作らせる

□……クリスマスの裝飾はなるべく子供自身でなさるやう材料だけ與へることにしたいものです。そうすれば子供らしく大人よりかへつてよいのが出來るかも知れません

□……先づクリスマスツリーですが、これはモミか一般的でせう。近頃は歐洲唐檜と云ふのが使用され値段も安く、手に入りますからこの方もよいかも知れません

□……ツリーが出來たら厚いボール紙を星や船、其の他色々のクリスマスに相應しい形に切つて、これに金紙や銀紙を貼りつけたものや小さいセルロイドの人形、テープ等を枝の要所々々につけます

□……次にテーブル、デコレーションですが、第一に相當厚みのある板を適當の大きさに切つて中心を作ります、そして少し濕つた水苔をこの上に一面に敷き並べ、その上をアスパラガス、プリモーサス、ナナスなどの青い葉で覆ふて丈夫な糸で捲き付け水苔をかくします

□……今度は中央に色とりどりのローソクを立てゝやうにしてその周圍に思ひ〳〵の花を挿すのです、花の間にはアスパラガス、プリモーサス、ナナスなどをさし、緑の中から美しい花を浮き出させるやうにするのです。こうすれば最も安く、子供達にも充分出來ます

獨飛行家カール氏　旅券下附方申出

十一日ハルビン獨逸領事館への入報に依れば十二日ベルリンを出發シベリア及び滿洲國經由上海に向つたドイツ飛行家カール、カーレンベルグ氏は在哈ドイツ領事館事務官を通じて滿洲國に對し正式に旅券の下附を申出でた。同氏の上海行きは蔣介石の招聘によるものと見られて居る

□獨、伯ツエッペリン航空路　獨乙國とブラジル政府間とに締結、世人をアッと言はせたツエッペリン飛行船定期航空路準備工作は此の程、百萬弗の離着場建設費を計上、ブラジル國リオ、デヂヤネイロに於て着工。一九三四年中には完成の見込みが立つたので御馴染みのユーゴー・エッケナー博士は近く渡伯することゝなつた

□徹底的國境脱出者防止　米墨國境には最近、國境突破者が激増するので、之を放置すると飛んだ犯人脱去の不祥事を惹起するかも知れぬとあつて、右國境守衛當局では從來の銃器の外毒ガスや催涙彈を併置使用し、徹底的脱走者防止に備へることゝなつた

ラヂオ

十五日(金曜日)新京

時刻	番組
午後五時〇分	子供の時間　コールナインのお話
同　五時三〇分	ニュース(英語)
同　五時四〇分	ニュース(露語)
同　五時五〇分	ニュース(鮮語)
同　六時〇分	ニュース(東京より)
同　六時二〇分	語學講座(滿語)　講師尚宮發急
同　六時四〇分	語學講座(日語)　講師植松金技
同　七時〇分	演藝(滿語)艶春院　文寶
同　七時二〇分	講演(滿語)大同二年協和會運動之回顧　協和會奉天事務局　張維蘭
同　八時〇分	ニュース　氣象豫報、番組豫告
同　八時二〇分	時報(東京より)
同　八時二一分	ニュース(東京より)
同　八時四五分	氣象豫報
同　九時〇分	演藝(奉天より)

引續明日のプログラム豫告

四平街　四平街署の大捕り者

四平街署では年末明を目前に去る十日より水も洩らさぬ特別警戒網を張りつゝあつたが恰かも十二日午後四時頃司法刑事隊が附屬地鐵道東滿洲街を密行中擧動不審の一滿人を發見本署へ連行の上取調べたる處此奴は去る七年四月九日午後九時半頃四平街附屬地東區慶安街特産商聚豐合事曲豐恒(五〇)方へ十餘名と一團となつて各自拳銃、棍棒を所持闖入同家に執務中の日永昌(五〇)に前頭部より後頭部を貫く銃創を負はせ即死せしめ且つ電話線を切斷して家人を一室に監禁脅迫の上大洋票二千八百六十八元四毛金十二圓五十錢現大洋三十元毛皮長衣十枚綿單袴下一枚金指輪二ケ金製耳飾二組と電話の受話器とを強奪何れかへ逃走した一味と判明内外の大捕物に雀躍り乍ら共犯者を目下嚴探中

海の外から

□牛乳電力殺菌法施行　米國加州牛乳會社では牛乳電力殺菌法に成功愈よ採用し出した。即ち精乳中に殺菌用電流を十九秒間放入すれば夏季でも五日間は品質精良を保ち得る器械裝置となつてゐるが漸次全米に流行するらしいと因にお電流殺菌時間十九秒間といふのが當會社獨特の器械の性能である

□オルガン筒發聲器完成　倫敦在住のクヨン・ランドルと云ふ一老人は、過去六十三年間オルガン筒發聲器の考案製作に從事し、此の程完成、特許を得た、此の樂器を使用すれば素人音樂家でも一廉の達人としての技倆を表はすことが出來ると、尚發音パイプは四千乃至六千個から成り價格は五十弗乃至三百弗といふ

噂、問題、到る處奪ひ合ひ、爆發的大賣行!!
講談倶樂部
新年號の別册大附錄
全國金滿家大番附
五十萬圓以上の富豪、一千圓以上の多額納税者全部、發表人員合計一萬三千名の大壯觀!
俄然現はれた新成金、突如轉落した有名富豪も數知れず、財界激動が生んだ富豪戰線の大異狀!
●日本一の金持は誰? 日本一の女富豪は誰? 日本一の多額納税者は誰?
●あなたの府縣で一番の金持、一番の納税者は誰か?
●五十萬圓以上の金持が幾人あるか? 千圓以上の納税者が何人あるか? 更に一親戚・知人先輩等が何人出てゐるか、どの位持つてゐるか?
●各府縣各都市の富の分布、資産に對する收益の狀態等々
悉く一目で分る興味の無盡藏!
本年十月現在 帝國興信所の嚴正無比の大調査!
●この大附錄と八百頁の本誌二册で七十錢の大奮發!
お求めは今! 早く賣切れぬ中!
東京本郷 大日本雄辯會講談社
錠劑
わかもと
胃腸
榮養
消化
殺菌
贈呈
只今! 全滿洲藥店にて
卓上容器つき賣出し中
特賣期間は十二月末日まで、滿洲國の各藥店にて「錠劑わかもと」大小に拘らず一瓶お買上げ毎に卓上容器一個進呈。
藥價低廉
三百錠入 一圓六十錢
發賣元 榮養と育兒の會
三井物産株式會社